

## 「里山整備と竹の有効活用」 ～すごいぞ！竹炭の浄化能力！～

『フィールドワーク＆竹炭の浄化作用実験(8月4、5日)・校内発表会(8月8日)』

8月4、5日に伊賀市ゆめが丘にある三重大学伊賀研究拠点との連携で「竹の有効利用」をテーマに実験講座が開かれ、理数科の1年生40名が参加しました。

4日にフィールドへ出て実習を行いました。午前中は、実際に竹林に入り、竹の計数調査や伐採、竹割りなど慣れない道具に苦戦しながら取り組みました。



5日は伊賀研究拠点の実験室で、竹炭の浄化能力を試す実験を行いました。その1つに竹炭など使った簡易ろ過装置を製作しました。各班優れたろ過装置を目指し工夫を凝らしていました。各班のろ過装置の浄化能力を競い合い大変盛り上がりしました。

3日間、フィールドワークの大変さ、データをまとめることの難しさや発表会でわかりやすく人に伝える難しさを実感し、とても貴重な体験となりました。



午後は竹林に囲まれながら、竹が里山に与える問題や里山の整備についてお話を聞きました。竹が里山に増えると日光が遮られ、里山の木々の芽生えが育たない様子を実際に見ながらのお話はとても勉強になりました。また、この日は里山整備のために伐採した竹の有効活用の1つである「竹炭」の製作の様子も見ていただきました。



### 今春卒業生の声 第3弾

大島 一将 さん

愛知県立大学 外国語学部 合格 (テニス部所属)

僕が3年間を理数科で過ごしてよかったと思うことは、クラス替えがなかったのもその分クラスメイトと仲良くなれたことです。最初クラス替えがないと聞いたときは、誰とクラスが一緒になるのかなどの年度初めのあの感じが無いのは残念だと思いました。その分仲良くなれると思います。また、僕たちの学年の理数科はとても個性的で面白いクラスメイトたちがたくさんいて、想像もつかないようなことをやっていたので、とても楽しかったです。きっとあんなことをしようとする高校生は後にも先にもめったにいないんじゃないかと思います。さらに、これは3年生になってから思ったことですが、多くの人が偏差値の高い大学を志望大学にしている、それに合格するために一生懸命努力していたので、自分も頑張ろうという気持ちになりやすかったです。模試の成績を友達と競い合うのも受験勉強のモチベーションのひとつになりました。(次回に続く)

